

# 大きなスギ 切れるかな

## 児童ら岡崎で林業体験

木を狙った方向へ倒すため、ロープの使い方の説明を受ける子どもたち(岡崎市木下町で)



名古屋市長区「あおぞら児童保育クラブ」の小学4～6年生18人が21日、岡崎市の山林で高さ約21メートルのスギを倒し、角材に製材するまでを体験した。

児童らは今年7月、同市額田地区で伐採されたスギやヒノキを使って、プレハブから木造2階に建て直された。その縁から、毎日の生活を豊かに、

楽しくしてくれた木について「もっと学ぼう」と産地での体験交流が計画された。

父母らとともに集合した子どもたちを、林業家の唐沢晋平さん(35)(同市千万町)が同市木下町の山林に案内。直径約20センチのスギに、6年生の江島未悠さん(12)から順番にノコギリで切り込みを入れた後、ロープで狙った方向に倒した。

スギは近くの製材所に運び込まれ、板や角材に加工された。角材は子どもたちが遊具作りに使う予定。

一行は同市内の県野外教育センターに泊まり、夜には唐沢さんの「林業教室」も開かれた。